

展示室1 続・“雰囲気”を展示する

私たちの生活は、さまざまな雰囲気に包まれています。場の「空気」を読み、季節の「風情」を感じるように、人と人、人との間、場に漂う不可視の「雰囲気」は、身近なものです。眼に見える作品が存在する美術の世界においても、おのずと眼に見えない雰囲気を表す試みが重ねられてきたのではないのでしょうか。

今回は、前年度に続いて雰囲気という切り口からコレクションを展示する試みです。「光と空間の雰囲気—明暗、色彩」をテーマに、作品がどのような相貌をみせるのかを、展示空間において4つの視点から探ります。

※神戸雰囲気学研究所（KOIAS）共同企画

作者名	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
サー・エドワード・コリー・パーソンズ	『フラワー・ブック』	朝の栄え	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ(38点組)
サー・フランク・ブランギン	『木版画集』	ヴェニス 金色の朝		木版・紙/ポートフォリオ
サー・エドワード・コリー・パーソンズ	『フラワー・ブック』	彼は来るかしら	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ(38点組)
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア		コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
栗原 忠二		ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
吉田 博		滞船、薄暮	1907(明治40)頃	水彩・紙
吉田 博		夕暮		水彩・紙
中澤 弘光		灯(加茂川夕涼)	1914(大正3)	油彩・キャンバス
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』	ドゥカーレ宮殿 ロッジアのルネサンス期の柱頭	1887	リトグラフ・紙
サー・エドワード・コリー・パーソンズ		フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ		エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート		カフェの中	1914頃	油彩・キャンバス
南 薫造		教会堂		水彩・紙
斎藤 清		ノートルダム、パリ	1974(昭和49)	木版・紙
リチャード・ゴーマン		フラット(ナイン・ペインティングスより)	2000	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート		ムガール・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング、アクアチント・紙 ローダーコレクション
ジョン・セル・コットマン		カーンの聖トリニティー大寺院、クリプト		エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョン・セル・コットマン	『ノーフォーク建築遺構のエッチング集』	ヤーマスの小修道院	1818	エッチング/ポートフォリオ ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー原画、ロバート・ウォリス版刻		ストーンヘンジ	1829	エッチング、ライツ・エンブレイヴィング・紙 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻		ストーンヘンジ	1843-4頃	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ヘンリー・ムーア	『ストーン・ヘンジ』	月光のしずく	1974	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー		早朝	1878	リトチント・紙
サミュエル・パーマー		眠る羊飼いは：早朝	1857	エッチング・紙 ローダーコレクション
サミュエル・パーマー		牧夫の小屋(日没)	1850	エッチング・紙 ローダーコレクション
サミュエル・パーマー		クリスマス(最後の羊を囲う)	1850	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻	『イングランドの風景』	秋の夕暮れ	1830-2	メゾチント・紙/ポートフォリオ ローダーコレクション

展示室2 草花を愛でる I

「この国の人々の特筆すべきところのひとつは、花に対する愛情である。」これはイギリス人のロバート・フォーチュンが幕末の日本を訪れた時の言葉です。彼が言うように、江戸時代には園芸が大流行し、いたるところで草花が鑑賞されていました。

明治時代になると、画家たちは西洋由来の技法を習得し、身の回りの風景を見つめ直します。植物の表現も自然観察に忠実な描写へと転じていきますが、彼らの水彩画やスケッチを見ると、植物を慈しむ気持ちに溢れていることに気がつきます。

今回は、画家たちの植物に対するまなざしを取り上げるシリーズ第一弾です。まだ寒い日が続きますが、彼らの目を通して暖かな季節に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

作者名	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
宇田川 裕庵		『植學啓原』第3巻(宇田川裕庵著)	1834-37(天保5-8)	木版・紙/本 明治版画コレクション
丸山 晚霞		少女のいる風景、春		水彩・紙
丸山 晚霞		霜晴れの高原		水彩・紙
河合 新蔵		ノウゼンカズラのある宿場		水彩・紙
大下 藤次郎		蓮池		水彩・紙
吉田 博		村里の子供たち(岩戸)	1894-99(明治27-32)頃	水彩・紙
吉田 博		積み藁のある風景		水彩・紙
吉田 博		つつじの咲く高原	1909-10(明治42-43)頃	水彩・紙
吉田 ふじを		フロリダ	1906(明治39)	水彩・紙
吉田 ふじを		土間	1906(明治39)	水彩・紙
武内 鶴之助		庭		パステル・紙
真野 紀太郎		ウェリントン植物園	1924(大正13)	水彩・紙
真野 紀太郎		薔薇	1952(昭和27)	水彩・紙
山中 春雄		花		油彩・キャンバス 武田光司コレクション寄贈
藤島 武二		がくの花	1901(明治34)	油彩・キャンバス
安藤 重春		笹	1932-37(昭和7-12)頃	岩絵具・絹 安藤重春氏寄贈
安藤 重春		みちのく(蓮田の道)	1966(昭和41)	岩絵具・紙
安藤 重春		庭隅	1985(昭和60)	岩絵具・紙 安藤ヒサヨ氏寄贈
青津 清喜		枯れた花の静物	1951(昭和26)	油彩・キャンバス
安井 曾太郎		早春		水彩・紙
安井 曾太郎		公園風景	1928(昭和3)	水彩・紙
斎藤 清		『日本女俗選』から 落苅り乙女(秋田)	1946(昭和21)	木版・紙
斎藤 清		早春	1990(平成2)	木版・紙 (株)ホテルはまつ寄贈
石川 寅治	『瀬戸内写生旅行』	鎌を持つ農夫	1911(明治44)頃	鉛筆、水彩・紙/画帖
亀井 至一	亀井家伝来資料	写生帖		水彩、鉛筆・紙
原 撫松		桔梗		水彩、鉛筆・紙 原優子氏寄贈
原 撫松		木春菊		水彩、鉛筆・紙 原優子氏寄贈
原 撫松		みかん	1892(明治25)	水彩・紙
原 撫松		菊	1892-4(明治25-27)	水彩、鉛筆・紙
原 撫松		蝸牛とトンボ	1893(明治26)	水彩・紙

展示室3 イギリス美術の広がり

現代美術は伝統的な美しさや技巧にとらわれず、自由な表現方法と多様な概念を探索しています。ここでは、著しい展開をみせ異彩を放ち続ける、1950年代以降から現代までのイギリス美術をご紹介します。

ヘップワースは、抽象形態のうちに自然との親和や人間的なぬくもりを示し、ニコルソンは繊細な色調と魅惑的な線によって形態を、グリーンは同色を重ねた厚みのあるマティエールを追求します。一方で、クラッグはありふれた素材を用いて現代社会と人間との関係性に新しい視点を提示します。さらに、近年収蔵されたフルトンの作品は「歩く」経験をもとに制作されたものです。

展示される作品は異なりますが、イギリスに培われた自然主義、批評精神、ウィットが見られる点で、共通の造形思考を有しているかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
デイム・バーバラ・ヘップワース	石柱(パヴァーヌ)	1953	油彩・パネル
デイム・バーバラ・ヘップワース	ふたつのフォルム、青	1958	油彩・ボード
デイム・バーバラ・ヘップワース	オルフェウス(マケット2)	1956	真鍮、糸
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾナイト
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆・紙、木製ボード

ハミッシュ・フルトン	過去 現在 未来	1974	写真、テキスト・紙	
ハミッシュ・フルトン	雨／壁	1983	写真、テキスト・紙	
ハミッシュ・フルトン	鳥／石	1986	写真、テキスト・紙	
ハミッシュ・フルトン	稜線	1990	鉛筆・紙	
ハミッシュ・フルトン	北海道 1983	1983	水彩・紙	大谷芳久氏寄贈
トニー・クラッグ	山と湖	1984	木	
アラン・グリーン	ドロ잉 336	1995	ミクストメディア・紙	
アラン・グリーン	クリーム色を貫く黒	1991	エッチング、アクアチント・紙	
アラン・グリーン	18 コの白と 50 コの黒	1990	エッチング、アクアチント・紙	
アラン・グリーン	4 つの正方形と 1 つの角	1991	エッチング、アクアチント・紙	
アラン・グリーン	赤に向かう白のアングル	1992	エッチング・紙	(株)カサハラ画廊寄贈

展示室 4-① 北川民次の版画

北川民次（1894-1989）は、多くの版画作品を手がけました。1921年から36年にかけて活動したメキシコにおいて、木口木版、エッチング、リトグラフといった多様な版画技法を習得しました。北川にとって版画は、社会的なメッセージを発信し、民衆の目に触れる機会を提供する理想的な表現手段でした。

北川の版画作品は、メキシコの民衆の風俗、歴史など、幅広い主題に及び、異文化への深い理解と社会的使命感を反映しています。さらに、1960年代から70年代にかけては、バツタをモチーフとした作品を多く制作しました。

彼の作品は、単なる個人の創作にとどまらず、芸術をつうじた国際的な文化交流と社会への積極的な関与の成果としても高く評価されるでしょう。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
北川 民次	メキシコの浴み	1941(昭和16)頃	木口木版・紙
北川 民次	メキシコの恋人たち	1970(昭和45)	エッチング・紙
北川 民次	群集	1970(昭和45)	エッチング・紙
北川 民次	百鬼夜行	1973(昭和48)	エッチング・紙
北川 民次	母子像	1973(昭和48)	エッチング・紙
北川 民次	サボテンと女		エッチング・紙
北川 民次	手のひらの上のバツタ	1971(昭和46)	エッチング・紙
北川 民次	丈のびするバツタ	1971(昭和46)	エッチング・紙
北川 民次	バツタに乗る魔女	1970(昭和45)	エッチング・紙
北川 民次	バツタと三人の女	1971(昭和46)	エッチング・紙
北川 民次	三匹のバツタと三人の女	1971(昭和46)	エッチング・紙
北川 民次	バツタ抱擁	1971(昭和46)	エッチング、手彩色・紙
北川 民次	神殿の中のバツタ (1)	1972(昭和47)	エッチング・紙
北川 民次	神殿の中のバツタ (2)	1972(昭和47)	エッチング・紙
北川 民次	バツタの楽園	1972(昭和47)	エッチング・紙
北川 民次	『メキシコの誘惑』表紙(原画:北川民次) 新潮社、1960年出版	1960(昭和35)	本
北川 民次	『メキシコの青春』表紙(原画:北川民次) エフエー出版、1986年出版(新装版)	1986(昭和61)	本
北川 民次	メキシコの男	1948(昭和23)	木口木版・紙
北川 民次	メキシコ三人女	1957(昭和32)	リトグラフ・紙
北川 民次	哺育	1965(昭和40)	リトグラフ・紙
北川 民次	ざくろをもつ女	1954(昭和29)	リトグラフ・紙
北川 民次	アザミの花	1962(昭和37)	リトグラフ・紙
北川 民次	シクラメンを主題にしたブーケ	1964(昭和39)	リトグラフ・紙
北川 民次	シェプリペディウム	1965(昭和40)	リトグラフ・紙
北川 民次	風景(瀬戸)	1944(昭和19)	油彩・キャンバス

展示室 4-② 佐藤潤四郎とガラスの神様

郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎の作品には「ガラスの神様」と呼ばれるキャラクターがしばしば登場します。ガラスの神様のモチーフとなっているのは、ガラスを吹く職人たちです。潤四郎は、自身がデザインしたものを形にする職人たちに深い愛情と尊敬の念を抱いていました。ガラスの神様の親しみやすく愛らしい姿は、潤四郎の職人たちへの感謝の気持ちとあたたかなまなざしが表れています。

ガラス工芸家として知られる潤四郎ですが、絵を描くことも好み、多くの絵画を制作しました。今回は、ガラス作品に加え、ガラスの神様が描かれた絵画作品も併せてご紹介します。佐藤潤四郎の芸術世界をどうぞお楽しみください。

作者名	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	ガラスの神様になった私		墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	トリオ・ザ・ガラスの神様		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	3人のガラスの神様と影法師		水彩、墨・布	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	窯場の神々 1		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	窯を取り巻くガラスの神々	1981(昭和56)	水彩、墨・布	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	夜空にガラスを吹くガラスの神様		水彩、墨・布	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	パレットの上のガラスの神々		墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎		ガラスで作ろう		淡彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤 潤四郎	[ガラスの神様]	仏の掌に乗るガラスの神様		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎		スタンドグラス原画：燭台になったガラスの神様と女神様		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎		硝子の女神	1982(昭和57)	ガラスレリーフ	田淵十一氏寄贈
佐藤 潤四郎		赤いガラスの神様		ガラスレリーフ	田淵十一氏寄贈
佐藤 潤四郎		花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス/宙吹・サンドブラスト (株)ノリタケクリスタル寄贈	
佐藤 潤四郎		瓶・ガラスの神様		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤 潤四郎		グリーン大杯・ガラスの神様	1980年代	ガラス/宙吹・プランツ、グラヴェール	
佐藤 潤四郎		大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎		リュトン (ガラスの神様)	1984(昭和59)頃	ガラス/宙吹き・グラヴェール	福永香氏寄贈
佐藤 潤四郎		陶皿に描く 2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤 潤四郎		陶板・天使		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤 潤四郎		吹硝子		紙本墨彩/軸	福永香氏寄贈
佐藤 潤四郎		オブジェ・ガラスを吹く人 (2点組)		金工 (鍛鉄)	大方竜子氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

	作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階	アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
	アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
	笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー	北村 四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
	細川 宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ	
	柳原 義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
	堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント	
	佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ	宇野洋子氏寄贈
●前庭	バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	